



遣伯使見聞録



Qual assunto você gosta? (どんな科目が好きですか?)

Matemática (算数) **Português** (国語) **Ciência** (理科) ...

クリチバやマリンガ、パラナバイで聞いたことや感じたことをまとめてトピック的に紹介(その4)します。

【トピック話】その4

④理科の話

子どもたちに「どんな科目が好きですか?」と聞くと、一番多いのは「算数」、次は「国語」か「美術」。「理科」という子は少ないです。理科教員としては少し残念な気持ちになりました。

子どもたちに聞いてみると

- ・教科書を読んでばかりだから
- ・テストが多いから

先生たちに聞いてみると

- ・理科専門の先生がないから
- ・大学で理科の指導の仕方を教えられていないから



それではなかなか子どもたちは興味を示しません。さらに、実験はほとんど行ってないようです。小学校には理科室や実験器具がありません。理科を学ぶと、生活の中にある物理や化学、自然環境などの仕組みがわかります。今の自然科学や科学技術を発見・発明した歴史上の科学者はみんな理科を勉強した人たちです。そこで教育局や各学校に次のような提案をしたいと考えました。

- ★もっと実験や観察など体験を取り入れたほうがいい! そのために実験器具や設備を整え始める。
- ★先生が内容を教え込むのではなく、子どもたち同士で予想したり考察したりして「考える」ことで、理解が増し「活きた知識」となり、子どもの興味も増す。
- ★大学の協力を得たり、教員研修を行ったりして、教員が理科の指導法を学ぶ必要がある。

理科の重要性を感じ始めたブラジルの文部科学省は、中学校の IDEB (全国共通テスト) に「理科」も取り入れ始めたそうです。また、パラナバイ市長も「理科」、特に環境教育への意識が高いそうです。理科嫌いな子どもたちに対し、自分は理科の授業を行ってみることにしました。反応が楽しみです。



太陽・地球・月の関係を表した大型模型



実物が触れる魚の化石



遠心力体験器



静電気の体験授業

クリチバにある州立科学教育センター(豊橋の自然史博物館と視聴覚教育センターが一つになったような施設)には、毎日多くの子どもたちが校外学習に来るそうです。大きな模型や貴重な資料、実験ショーが見られるコーナーもありました。子どもたちが理科、自然科学に興味をもつために、このような五感を使って体験できる施設をもっと増やしたり、活用したりすべきだと思いました。

本当に!? ~ナッツコラム~

クリチバの州立科学教育センターに行ったとき、学芸員さんの話を聞いてナッツは「え~本当に!?」の連発だった。中でも驚いていたのは「ブラジル人の7%は、地球は平らだと思っている」「人気な施設だけど、あまり来場者が多すぎて困る。学芸員が人員削減されて、対応しきれない」ということだ。やっぱり理科教育は大切だと思うナッツでした。(ナッツの腕時計より)

